



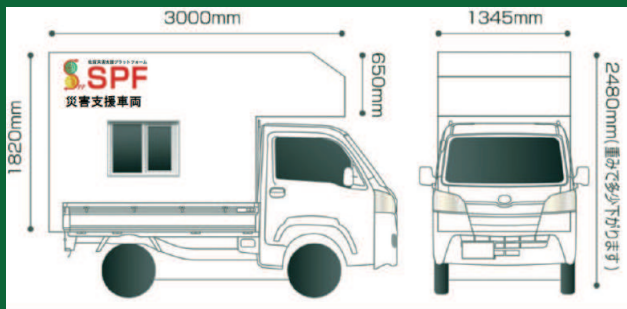
移動型災害支援拠点：居住タイプ

移動型災害支援拠点とは

災害は“いつ”“どこで”起きるかわかりません。支援に行く側、支援を受ける側、双方にとって被災地域での生活空間の迅速な確保は大きな課題となっています。

支援側は、被災者の限られた避難空間や食料を圧迫しないよう、持ち込みで拠点を構築し機能させることが求められます。

この移動型災害支援拠点とは、一般的に普及している軽トラックを活用し、生活モジュールを積み荷として移動させることで、どこでも迅速に居住空間を構築できるシステムのことで。



移動型災害支援拠点販売元

◎一般社団法人 佐賀災害支援プラットフォーム

〒840-0813

佐賀市唐人二丁目5番15号 TOJIN 館

TEL：070-8801-0260

E-mail：info@s-spf.com

◎移動型災害支援拠点監修

株式会社川崎空間研究所 | 川崎康広 (1級建築士)

企画・製造元・その他車両販売元

◎株式会社神羅カンパニー

<https://shin-ra.co.jp>

◎一般社団法人 TURKS SAGA

<https://turks-saga.jp>

TEL：050-7580-4142

E-mail：info@turks-saga.jp

◎サガンパー (商標登録出願中)

<https://sagamper.com>

- ・移動型災害支援拠点モジュール製造販売元
- ・キャンピングカー企画製造販売元
- ・キッチンカー企画製造販売元



※販売代理店様からも購入いただけます。

佐賀を楽しもう！
ソロキャンプと軽キャンパーでこそ可能な
気軽にローコストでのレジャー体験！



キッチンカー製造・販売



キッチンカー：標準タイプ

※画像の車両はカスタム例になります。カラーリングや電源オプションなどの追加の場合は別途料金等が発生します。

軽バンタイプの架装ほか・内装例



キッチンタイプの内装例

※軽トラック以外にも軽バンやミニバン等のキャンピングカーやキッチンカー。移動式の録音スタジオ、移動式音響ブース、移動式オフィスなどのモジュールを交換することで、様々な仕様に変更も可能です。

キャンピングカー製造・販売



キャンピングカー：標準タイプ

※画像の車両はカスタム例になります。カラーリングや電源オプションなどの追加の場合は別途料金等が発生します。

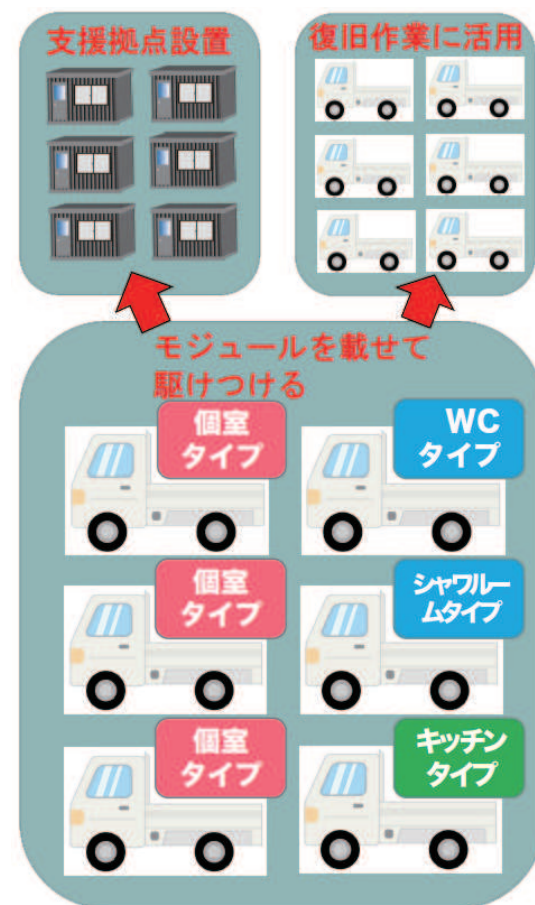
建物モジュールとの分離



建物モジュールの分離例

※画像の車両はイメージです。車両タイプや被災地の状況に応じて、建物モジュールの形態は異なる場合があります。QRコードより分離動画を観れます。

移動型災害支援拠点の活用例



- ・普段は軽トラックとして活用しながら、災害支援の際には、現地での仮設の支援拠点として活用することができます。
- ・被災地では建物モジュールを降ろすことで、トラックはそのまま支援活動に使用できます。
- ・軽トラを活用することで、狭い場所にも行けて維持費（車検、自動車税）も安価です。
- ・平時はアウトドア用としてキャンピングカーや、移動販売車両としても活用できます。